

## 加湿について(1)

### [適正加湿評価]

使用中の人工呼吸器回路湿度を連続的にモニタリングする方法はありません。そこで何らかの方法で加湿の程度を判断するしかありません。例えば、人工呼吸器回路の内壁に水滴が結露していれば、その温度設定において相対湿度は100%だといえます。そこで加湿が適切なのか？適切ではないのか？を判断するには下記に示す指標が参考になります。



### [臨床的な適正加湿の指標]

1. 喀痰が柔らかくなっていること
  2. 吸気回路終末部に配置した温度モニタで適温（32℃～37℃）になっていること
  3. 吸気回路末端付近で内側に結露していること
  4. 気管チューブ内壁に結露、水滴があること
  5. 気管内吸引カテーテルが気管チューブにスムーズにはいること
- （人工鼻 使用下では1.4.5.を指標にする）

（磨田祐：加湿加湿,新版 図解ICU—呼吸管理編, 沼田克雄,奥津芳人編,pp310—313,東京,新興交易医書出版,1996.）

より引用